

共通専門基礎科目	協働的医療実践の基礎					
看護学科	選択	1単位	講義	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	選択					
科目名	保健統計学 Health Care Statistics					
担当教員	都築英明					
目的	保健行政において必須である各種保健情報を客観的なものとして整理するツールである保健統計学を学び、代表的な保健統計手法および各種保健統計データの解釈について実例を挙げて理解することを目的とする。					
目標	保健統計は行政施策の基礎資料となるほか、企業などでも利用されている。これら保健統計の基礎を理解し、実際に行われている保健統計手法について具体的に説明を加える。さらにデータの整理の仕方および統計手法をどのように活用し解釈するかを具体的な事例について演習を行う。					
他科目との関連	衛生管理学、環境検査学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	シンプル衛生公衆衛生学 2016 (南江堂)					
参考資料	国民国民衛生の動向 (厚生統計協会)、標準保健師講座 疫学・保健統計学 (医学書院)、バイオサイエンスの統計学 (南江堂)					
備考 (受講上注意、事前学習等)						